

(様式第1)

令和7年5月10日

倉敷市長 伊 東 香 織 あて

代表団体名 NPO法人地域猫活動を推進する会

代表者 職名 理事長 氏名 地域 猫太郎

高梁川流域地域づくり連携推進事業費補助金等交付申請書

高梁川流域地域づくり連携推進事業補助金の交付を受けたいので、高梁川流域地域づくり連携推進事業費補助金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 事業名 若者をつくる地域猫活動ハンドブック作成事業

2 交付申請額 金 548 千円 (千円未満切り捨て)

3 グループ名 地域猫活動ハンドブック作成実行委員会

4 グループ構成団体

団体名	拠点市町	役割 (簡潔に記入すること)	種類
NPO法人地域猫活動を推進する会	倉敷市	ハンドブックの原稿作成、販売	NPO法人
〇〇大学〇〇ゼミ	〇〇市	ハンドブックのデザイン、販売、HP作成、情報発信	大学

5 実施期間 令和 7年 7月 1日 から 令和 8年 3月 31日 まで

6 承諾事項 次の事項に承諾できるグループのみ補助金の交付申請ができます。

- (1) 事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施すること
- (2) 運営委員会から計画の改善提案があったときは、真摯に受け止め、計画を見直すこと
- (3) SDGs (2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標)の普及啓発のため、倉敷市が提供するポスターをイベント等の会場に掲示すること
- (4) チラシ等に「令和7年度高梁川流域地域づくり連携推進事業」の文言及び国際連合広報センターが提供する「SDGsのロゴとアイコン」(下部参照)を表示すること
- (5) 毎月、倉敷市が指定するブログに活動状況を投稿すること
- (6) 倉敷市長が事業の成果発表及び普及を図るときには、積極的に協力すること

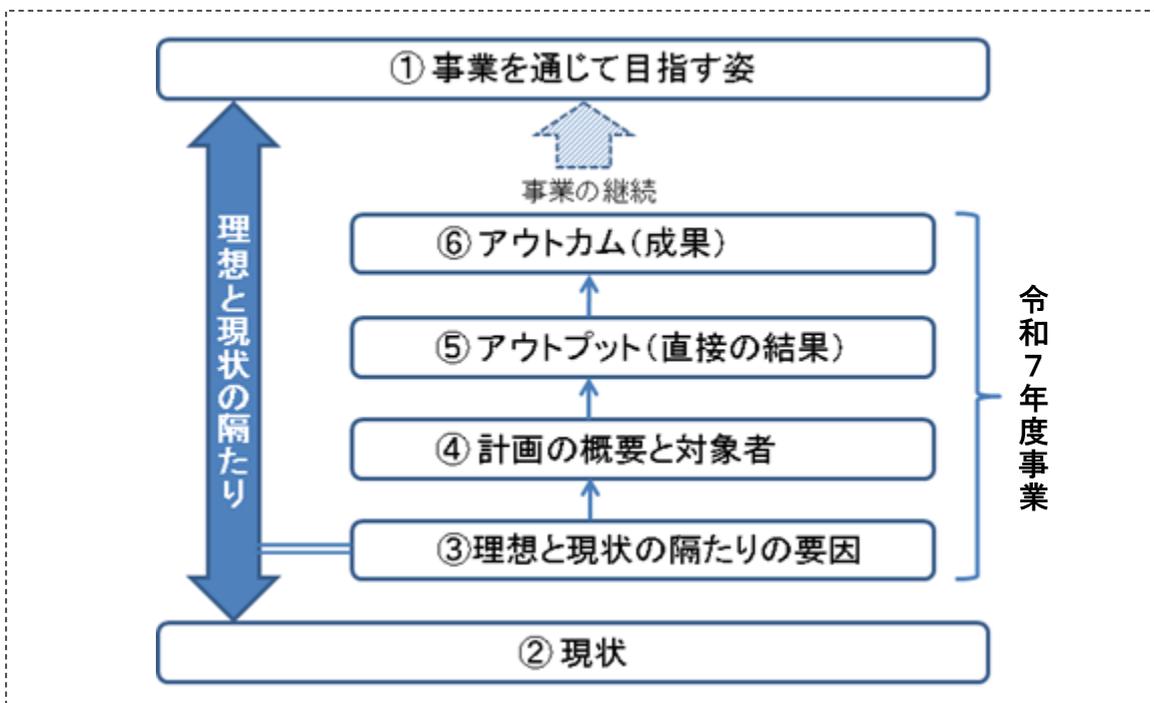
上記(1)～(6)の事項について承諾します。

事業計画書

事業名	若者をつくる地域猫活動ハンドブック作成事業	
グループ名	地域猫活動ハンドブック作成実行委員会	
代表団体	名称	NPO法人地域猫活動を推進する会
	住所	倉敷市西中新田 620-1
	担当者	地域 猫太郎
	電話番号	086-426-3107
	E-mail	collabo@city.kurashiki.okayama.jp

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものがあります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、○○○というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム（短期）	アウトカム（長期）
学習支援事業	学習会の開催	月4回、各回20名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成、800人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着、経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週2回、各回15名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回、各回5名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

飼い主のいないすべての猫が、地域のルールに基づいて飼育管理されており、野良猫によるトラブルのない、人と猫が共生する地域になることを目指す。

2 現状

1「**事業を通じて目指す姿**」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

野良猫の多い地域では、自然繁殖、鳴き声、糞尿の悪臭等により、周辺住宅へ悪影響が及んでいる。また、野良猫により迷惑を受けている人と野良猫にエサを与えている人との間でトラブルに発展することもある。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1「**事業を通じて目指す姿**」と2「**現状**」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか。

野良猫が引き起こす問題に対して、地域住民で協力して対処するという視点を持たないことが、隔たりの要因と考える。地域が取りうる選択肢として地域猫活動があるが、そもそも住民が、この活動の存在を知らないことが課題である。

【地域猫とは】地域のルールに基づいて飼育管理される野良猫のことであり、地域猫活動の将来的な目的は、野良猫をなくしていくことである。ただ、それには時間がかかるため、野良猫を増やさない、またはエサやりによる迷惑を防止するといったことが当面の取り組みとなる。

4 計画の概要と対象者（令和7年度）

(1) 事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

<input type="checkbox"/>	実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業
<input checked="" type="checkbox"/>	グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り、地域の新たな催しや地域資源を開発する事業

(2) 計画の概要

3 「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため、どのような事業を実施しますか。
「どのような地域・人に対して、どのような活動を行うのか」について、簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

<p>NPO法人地域猫活動を推進する会と〇〇大学〇〇ゼミとが、それぞれのノウハウを持ち寄って「地域猫活動ハンドブック」を作成する。</p> <p>また、倉敷市と〇〇市で開催されるイベントに参加し、冊子を販売する。</p>
--

5 アウトプット（直接の結果）

(1) 事業を通じて提供するサービス

事業を通じて、「どのような地域・人に対し、どのようなサービスを提供するのか」について、具体的に記入してください。

<p>野良猫により被害を受けている地域住民に対し、地域活動グループの結成から、猫の不妊去勢手術の実施、飼育管理の方法まで、一連の取り組みの流れを盛り込んだ「地域猫活動ハンドブック」を販売する。</p>
--

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状は

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
ハンドブックの販売数	冊子販売数 0 冊	冊子販売数 100 冊

どの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

冊子の販売数を数える。

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1 「**事業を通じて目指す姿**」の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

野良猫により被害を受けている地域住民が、猫の好き嫌いに関わらず協力し、自らの力で適切に解決していけるようになること。

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

野良猫により被害を受けている地域住民が、「地域猫活動ハンドブック」を読むことを通じて、地域猫活動への関心を持つこと。

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
地域住民からの地域猫活動についての問い合わせ	問い合わせ件数 0 件	問い合わせ件数 5 件

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

※内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらい等を具体的に記入してください。

【冊子の作成】

冊子の内容（仮）

①地域猫活動がどうして必要なのか

②地域猫活動について

地域猫とは、地域猫活動とは、活動の目的、メリットなど

③地域猫活動の流れ

活動グループの結成、地域の現状把握、活動ルールと計画の作成、住民への説明、周知、猫の捕獲、不妊去勢手術、リターン、飼育管理など

④Q & A

⑤取組事例

住宅地・公園・神社など、地域の環境別に5～6の事例を挙げる。

過去に支援を行った地域に聞き取り調査をおこなう。

【ホームページの作成】

・大学生が主体となりホームページを作成する。

・地域猫活動とは何か、冊子の紹介、事例紹介、団体の活動紹介（ブログ形式）

(2) 事業のスケジュール（準備～実施～報告）

7月	冊子の構成の検討
8月	取組事例の材料集めのための聞き取り調査
9・10月	原稿作成
11月	デザイン作成
12月	印刷会社に発注 中間報告書提出
1月	ホームページ作成 冊子校正
2月	冊子納品 冊子販売開始
3月	実績報告書提出

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

【NPO法人地域猫活動を推進する会】

地域猫活動の推進に関する実践経験が豊富である。2008年に会を発足させて以来、〇〇市内の20を超える地域の地域猫活動の支援を行ってきた。具体的には、野良猫の捕獲、不妊去勢手術の手配、飼育管理、地域活動グループの結成支援、譲渡などを実施している。この実践経験を活かした、説得力のある文章を書くことができる。

【〇〇大学〇〇ゼミ】

ゼミの生徒を中心に、大学内の野良猫に対する地域猫活動を実施しているため、地域猫活動のノウハウを持つ。また、デザインやインターネットの活用を授業で学んだ生徒が複数いるため、その能力を使って冊子の魅力を高めることができる。

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

NPO法人地域猫活動を推進する会

(2) 事業完了後の取り組みの概要

- ・市内で開催されるイベントに積極的に参加することで、冊子の販売機会を得る。
- ・これまでに支援してきた20を超える地域に冊子を提供し、地域猫活動のロコミでの普及に協力してもらおう。
- ・ホームページに活動状況を随時掲載する。大学生が引き続きホームページの管理を行う。

10 SDGs との関係

次のSDGsの17のゴールのうち、申請する事業に関係する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

① 1 7 ② 4 ③ 1 5



1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に

SDGsとは
 2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。

17 パートナーシップで目標を達成しよう

収支予算書

	所属・役職	氏名
経理責任者	NPO法人地域猫活動を推進する会 事務局長	岡山 太郎
経理担当者	NPO法人地域猫活動を推進する会 事務局会計	倉敷 花子

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
補助金		548,000	※千円未満切り捨て, 上限 750 千円
その他	会費、冊子販売	50,000	
収入合計		598,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
人件費	冊子デザイン	50,000	1,000 円×5h×10 日×1 人
	HP 作成	50,000	1,000 円×5h×10 日×1 人
謝金		0	
旅費交通費	ガソリン代	50,000	500 円×5 人×20 回
	電車代	70,000	700 円×5 人×20 回
消耗品費	用紙	20,000	A4:300 円×35 冊, A3:900 円×10 冊
	インク	28,000	7,000 円×4 個
	付箋紙	1,000	200 円×5 冊
	振込用紙	5,000	5,000 枚
印刷製本費	冊子製本代	180,000	1,000 冊
通信運搬費	チラシ郵送料	4,000	
保険料		0	
使用料・賃借料	販売イベント	10,000	5,000 円×2 回
委託料	チラシ外注	80,000	5,000 枚
対象経費計		548,000	
食糧費	会議飲食代	50,000	
その他		0	
対象外経費計		50,000	
支出合計		598,000	(収入合計と一致)

※金額は切り上げて千円単位で記入してください。

グループの構成団体ごとに作成し、規約や会員名簿などの確認書類とセットにして提出すること。

組織運営体制

団体名	NPO法人地域猫活動を推進する会
ふりがな	NPOほうじんちいきねこかつどうをすいしんするかい
法人格 (○をつけてください)	任意団体・ NPO 法人 ・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他 ()
CANPAN 登録の有無	有 (★の数: 個) ・ 無

※CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する、市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト

1 組織体制

※ CANPAN 登録団体のうち、情報開示レベルの★が 1 つ以上の団体は記入を省略できます。

任意団体活動開始年月	2018 年 10 月 (西暦)	
法人格取得年月	2020 年 8 月 (西暦)	
事務所 所在地	倉敷市西中新田 620-1	
代表者	職・氏名	理事長 地域 猫太郎
	電話番号	086-426-3107 (連絡可能時間帯 8:30~17:15)
ウェブサイト URL	http:// www.city.kurashiki.okayama.jp	
活動地域	倉敷市全域	
役員数・職員数計	16 名 (役員 5 名、職員 11 名)	
設立年月	平成 30 年 10 月	
活動分野 (該当に○をする) (複数回答可)	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援・ 地域 ・ まちづくり ・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ()	
活動目的 (規約等に定めるもの)	この法人は、倉敷市及びその周辺地域に暮らす人々に対して、飼い主のいない猫の繁殖制限や保護・譲渡に関する各種事業を行い、地域の生活環境を改善することにより、人にも猫にもやさしいまちづくりの形成に寄与することを目的とする。	

設立以来の主な活動実績	2018年に団体を設立し、飼い主のいない猫の捕獲、不妊去勢手術、リターンを支援する事業を始めた。2020年には、飼い主のいない猫の保護・譲渡をする事業を追加し、昨年度からは、猫の適正な飼育方法や飼い主のいない猫に対する地域猫活動の有効性を訴える地域イベントの開催に着手している。
現在特に力を入れていること	現在は、地域猫活動をいかにして地域に浸透させていくかに注力している。

2 団体概要と財政状況

※ CANPAN 登録団体のうち、情報開示レベルの★が2つ以上の団体は記入を省略できます。

団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼い主のいない猫の捕獲、不妊去勢手術、リターンを支援する事業 ・ 飼い主のいない猫の保護・譲渡をする事業 ・ 猫の適正な飼育方法や飼い主のいない猫に対する地域猫活動の有効性を訴える地域イベントの開催
今後の活動の方向性	地域猫活動に取り組むモデル事例を複数作り、積極的に広報していくことで、地域への浸透を図る。
最新決算総額 (該当に○をする)	100万円未満・ 100～500万円未満 ・500～1,000万円未満・1,000～5,000万円未満・5,000～1億円未満・1～5億円未満・5億円以上
定期刊行物	なし

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	令和元年度倉敷市市民企画提案事業 自主事業部門 令和3年度倉敷市市民企画提案事業 協働事業部門
他 NPO・市民活動団体との協働実績	なし
企業・団体との協働実績	なし
行政との協働実績(委託事業など)	なし